

第56回(令和7年度)市村アイデア賞 応募用紙

*応募された方の個人情報は、市村アイデア賞関係以外には使用致しません。

市村アイデア奨励賞

受付No. 00337

◎受付No.は、記入しないでください

アイデア名	視力低下を防ぐためのヘルメット		
フリガナ	マツ ノ カズキ	学年	中学3年
名前	松野 一輝		
学校名	奈良 奈良女子大学附属中等教育学校 <small>(通学している学校名を記入します)</small>		
応募方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 学校から <input type="checkbox"/> 3. 個人で <input type="checkbox"/> 2. 発明クラブなどの団体 団体名()		

◎ここからは必ず自分で書きましょう。手書きの時はBの鉛筆か黒のボールペンではっきりと書いてください。

1. なぜこのアイデアを思いつきましたか(必ず記入してください)

僕は勉強している時の姿勢が悪く、目が悪くなりました。
 そして母から視力を戻すために机から30cm空けて、明るい所で勉強するように言われました。しかし横に30cmもの土しを置いて測りながら勉強するのはとてもめんどうです。なので30cmを測り続け明るさも測れるヘルメットを作ろうと思いました。

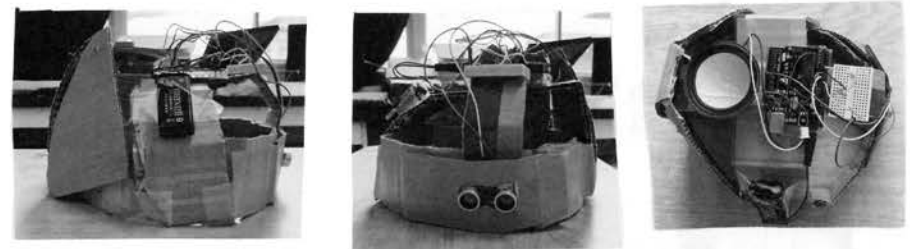
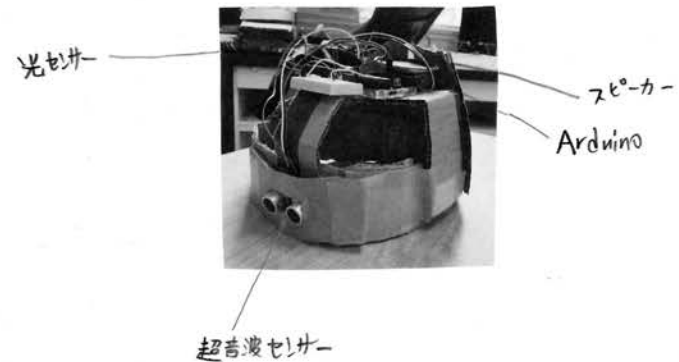
4. 作品を実際作って見ましたか(必ず記入してください)

作りました いま作っている 作っていません

5. 作品が完成していたら、写真をはってください



2. アイデアの図を書いてください(必ず記入してください)



3. 上の図の説明や、がんばったことなどを書いてください(必ず記入してください)

Arduino というマイコンを使って、超音波センサーで距離を測り光センサーで明るさを測れるようにしました。距離が30cmより短くなった時にブザーで低い音を鳴らし、暗くなった時に高い音を鳴らすようにプログラムを書き込みました。そしてそれぞれの電子回路をヘルメットの型に付けて、電池をつけて動かしました。このヘルメットを使用することによって、常に机との距離と明るさを測ることが出来るため、視力の悪化を防ぐことが出来ます。さらに音の高低で距離が近いのか、暗いのか分かるようになります。